

加須市監査基準

令和2年3月17日
加須市監査委員告示第4号

目次

- 第1章 総則（第1条・第2条）
- 第2章 一般基準（第3条—第6条）
- 第3章 実施基準（第7条—第14条）
- 第4章 報告基準（第15条—第19条）
- 第5章 補則（第20条）
- 附則

第1章 総則

（趣旨）

第1条 この基準は、地方自治法（昭和22年法律第67号。次条において「法」という。）、地方公営企業法（昭和27年法律第292号）及び地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）の規定に基づいて監査委員が行う監査、検査、審査その他の行為の実施、報告等に関して監査委員のよるべき基本事項を定めるものとする。

（規範性）

第2条 この基準は、法第198条の3第1項に規定する監査基準であり、監査委員は、当該基準に従って監査、検査、審査その他の行為を実施するものとする。

第2章 一般基準

（監査、検査、審査その他の行為の目的）

第3条 監査委員が行う監査、検査、審査その他の行為は、本市の事務の管理及び執行等について、法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的な実施を確保し、住民の福祉の増進に資することを目的とする。

2 監査委員は、自ら入手した証拠等を基に監査、検査、審査その他の行為に係る意見等を形成し、結果に関する報告等を決定し、これを議会、市長等に提出するものとする。

（監査等の範囲及び目的）

第4条 監査、検査、審査その他の行為のうち、この基準における監査等は次に掲げるものとし、それぞれ当該各号に定めることを目的とする。

- （1） 財務監査 財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が法令に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているか監査すること。
- （2） 行政監査 事務の執行が法令に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているか監査すること。

- (3) 財政援助団体等監査 補助金、交付金、負担金等の財政的援助を与えている団体、出資している団体、借入金の元金又は利子の支払を保証している団体、信託の受託者及び公の施設の管理を行わせている団体の当該財政的援助等に係る出納その他の事務の執行が当該財政的援助等の目的に沿って行われているか監査すること。
 - (4) 例月出納検査 会計管理者等の現金の出納事務が正確に行われているか検査すること。
 - (5) 決算審査 決算その他関係書類が法令に適合し、かつ、正確であるか、また、予算の執行又は事業の経営が、経済的、効率的かつ効果的に行われているか審査すること。
 - (6) 基金運用審査 基金の運用状況を示す書類の計数が正確であり、基金の運用が確実かつ効率的に行われているか審査すること。
 - (7) 健全化判断比率等審査 健全化判断比率及び資金不足比率並びにそれらの算定の基礎となる事項を記載した書類が法令に適合し、かつ、正確であるか審査すること。
- 2 法令の規定により監査委員が行うこととされている監査、検査、審査その他の行為（監査等を除く。）については、法令の規定に基づき、かつ、この基準の趣旨に鑑み、実施するものとする。

（監査委員の責務）

- 第5条** 監査委員は、高潔な人格を維持し、いかなる場合も信義に則り、誠実な態度を保持するものとする。
- 2 監査委員は、独立的かつ客観的な立場で公正不偏の態度を保持し、正当な注意を払ってその職務を遂行するものとする。
 - 3 監査委員は、市の財政管理、事業の経営管理その他行政運営に関し優れた識見を有し、その職務の遂行に当たっては、自らの能力の向上と知識の蓄積を図り、常に自己研さんに努めるものとする。
 - 4 監査委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

（質の管理）

- 第6条** 監査委員は、職務を遂行するに当たり求められる質を確保するために、監査委員の事務を補助する職員（次項において「事務補助職員」という。）に対して、適切に指揮及び監督を行うものとする。
- 2 監査委員は、事務補助職員に対し、監査委員の職務がこの基準に則って遂行されるよう、市の財政管理、事業の経営管理その他行政運営に関して、自らの専門能力の向上と知識の蓄積を図るよう研さんに努めさせるものとする。
 - 3 監査委員は、監査計画、監査等の内容、判断の過程、証拠及び結果その他の監査委員が必要と認める事項を監査調書等として作成し、保存するものとする。

第3章 実施基準

（監査計画）

- 第7条** 監査委員は、監査等を効率的かつ効果的に実施することができるよう、リスク（組織目的の達成を阻害する要因をいう。以下同じ。）の内容及び程度、過去の監査結果、監査結果の措置状況、監査資源等を総合的に勘案し、毎年監査計画を策定するものとする。
- 2 前項の監査計画には、監査等の種類、対象、時期、実施体制等を定めるものとする。

3 監査委員は、監査計画の前提として把握した事象若しくは状況が変化し、又は監査等の実施過程で新たな事実を発見した場合は、必要に応じて監査計画を修正するものとする。

(リスクの識別と対応)

第8条 監査委員は、必要に応じて監査等の対象に係るリスクを識別し、そのリスクの内容及び程度を検討した上で監査等を実施するものとする。

(内部統制を踏まえた監査等)

第9条 前条のリスクの内容及び程度の検討に当たっては、内部統制の整備状況及び運営状況について情報を集め、判断するものとする。

2 監査委員は、監査等の種類に応じ、内部統制の整備運営状況に応じて、適切に監査等を行うものとする。

(監査等の実施手続)

第10条 監査委員は、必要な監査等の証拠を効率的かつ効果的に入手するため、監査計画に基づき、実施すべき監査等の手続を選択し、実施するものとする。

(監査等の証拠入手)

第11条 監査委員は、必要な監査等の証拠を入手するものとする。

2 監査委員は、監査等の証拠を評価した結果、想定していなかった事象若しくは状況が生じ、又は新たな事実を発見した場合は、監査等の手続を追加して必要な監査等の証拠を入手するものとする。

(各種の監査等の有機的な連携及び調整)

第12条 監査委員は、各種の監査等が相互に有機的に連携して行われるよう調整し、監査等を行うものとする。

(監査専門委員の選任)

第13条 監査委員は、必要に応じて監査専門委員を選任し、必要な事項を調査させることができる。

(監査等の意見聴取)

第14条 監査委員は、必要に応じて、監査等の結果に関する報告の決定前に監査等に基づく監査対象部局の長に対する講評を行い、これに対する意見を聴取するものとする。

第4章 報告基準

(監査等の結果に関する報告等の提出等)

第15条 監査委員は、財務監査、行政監査及び財政援助団体等監査に係る監査の結果に関する報告を作成し、議会、市長等に提出するものとする。

2 監査委員は、前項の監査の結果に関する報告については、当該報告に添えてその意見を提出することができるとともに、当該報告のうち特に措置を講ずる必要があると認める事項については勧告する

ことができる。

- 3 監査委員は、例月出納検査の結果に関する報告を作成し、議会及び市長に提出するものとする。
- 4 監査委員は、決算審査、基金運用審査及び健全化判断比率等審査を終了したときは、意見を市長に提出するものとする。

(監査等の結果に関する報告等への記載事項)

第16条 監査等の結果に関する報告等には、原則として次に掲げる事項その他監査委員が必要と認める事項を記載するものとする。

- (1) この基準に準拠している旨
 - (2) 監査等の種類
 - (3) 監査等の対象
 - (4) 監査等の着眼点（評価項目）
 - (5) 監査等の実施内容
 - (6) 監査等の結果
- 2 前項第6号の監査等の結果には、次の各号に掲げる監査等の種類に応じて、重要な点において当該各号に定める事項が認められる場合にはその旨その他監査委員が必要と認める事項を記載するものとする。
- (1) 財務監査 前項第1号から第5号までの記載事項のとおり監査した限りにおいて、監査の対象となった事務が法令に適合し、正確に行われ、最少の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めていること。
 - (2) 行政監査 前項第1号から第5号までの記載事項のとおり監査した限りにおいて、監査の対象となった事務が法令に適合し、正確に行われ、最少の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めていること。
 - (3) 財政援助団体等監査 前項第1号から第5号までの記載事項のとおり監査した限りにおいて、監査の対象となった財政援助団体等の当該財政的援助等に係る出納その他の事務の執行が当該財政的援助等の目的に沿って行われていること。
 - (4) 例月出納検査 前項第1号から第5号までの記載事項のとおり検査した限りにおいて、会計管理者等の現金の出納事務が正確に行われていること。
 - (5) 決算審査 前項第1号から第5号までの記載事項のとおり審査した限りにおいて、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ、正確であること。
 - (6) 基金運用審査 前項第1号から第5号までの記載事項のとおり審査した限りにおいて、市長から提出された基金の運用の状況を示す書類の計数が正確であると認められ、基金の運用が確実かつ効率的に行われていること。
 - (7) 健全化判断比率等審査 健全化判断比率及び資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類が法令に適合し、かつ、正確であること。
- 3 第1項第6号の監査等の結果には、前項各号に掲げる監査等の種類に応じて、重要な点において当該各号に定める事項が認められない場合にはその旨その他監査委員が必要と認める事項を記載するものとする。
- 4 監査委員は、是正又は改善が必要である事項が認められる場合、その内容を監査等の結果に記載するとともに、必要に応じて、監査等の実施過程で明らかとなった当該事項の原因等を記載するよう努

めるものとする。

(合議)

第17条 監査等のうち、次に掲げる事項については、監査委員の合議によるものとする。

- (1) 監査の結果に関する報告（財務監査、行政監査及び財政援助団体等監査に係るものに限る。以下同じ。）の決定
- (2) 監査の結果に関する報告に添える意見の決定
- (3) 監査の結果に関する報告に係る勧告の決定
- (4) 決算審査に係る意見の決定
- (5) 基金運用審査に係る意見の決定
- (6) 健全化判断比率等審査に係る意見の決定

2 監査委員は、監査の結果に関する報告の決定について、各監査委員の意見が一致しないことにより、前項の合議により決定することができない事項がある場合は、その旨及び当該事項についての各監査委員の意見を議会、市長等に提出するとともに公表するものとする。

(公表)

第18条 監査委員は、次に掲げる事項を全監査委員の連名で公表するものとする。

- (1) 監査の結果に関する報告の内容
- (2) 監査の結果に関する報告に添える意見の内容
- (3) 監査の結果に関する報告に係る勧告の内容

(措置状況の公表等)

第19条 監査委員は、監査の結果に関する報告を提出した者及び監査の結果に関する報告に係る勧告をした者から、措置の内容の通知を受けた場合は当該措置の内容を公表するものとする。

2 監査委員は、監査の結果に関する報告を提出した者及び監査の結果に関する報告に係る勧告をした者に、適時、措置状況の報告を求めよう努めるものとする。

第5章 補則

(その他)

第20条 この基準の実施に関し必要な事項は、監査委員の合議により別に定めるものとする。

附 則

この告示は、令和2年4月1日から施行する。